



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

松本ひろかず議員一般質問



子どもの安全は最優先
今こそ少人数学級を

16日、松本ひろかず議員は、①少なすぎる職員を増やして、市民にしっかりと寄り添う態勢を、②子どもを守り育てる学校に、の2点について一般質問をおこないました。

教室は「密集・密接」状態
1クラス20人以下に

緊急事態宣言が全面解除され、休校が続いていた学校も、

1学級の人数(通常学級)

小学校・義務教育学校前期		
人数	学級数	割合%
～19人	3	0.9
20～24人	31	9.2
25～29人	115	34.0
30～34人	137	40.5
35～	52	15.4
計	338	100.0

※1クラス20人以上が99.1%

中学校・義務教育学校後期

人数	学級数	割合%
～19人	0	0.0
20～24人	2	1.4
25～29人	4	2.7
30～34人	39	26.5
35～	102	69.4
計	147	100.0

※1クラス20人未満はゼロ

6月から再開しました。いま求められるのは一人ひとりを大切にする教育です。
【質問①】マスク、消毒液、非接触体温計、ペーパータオルなど物品の確保は、
・市の対策本部と連携し確保している。非接触体温計は、

市健康課から各校1台借用。
【質問②】「密集・密接」を避けるには、1教室何人が適当か。現在の1学級の人数は、
・概ね20人以下。現状は左表の通りで20人以下は3学級。
【質問③】「密集・密接」を避けるために今こそ、少人数学級の実施が必要だが、
・少人数での学習が望ましい。少人数学級編成は国の定数改善による。国・県に引き続き要望していく。
【質問④】「席の間隔の確保、歌唱指導、体育などの身体接触、給食は前を向いて、遊具では遊ばないで」など機械的に注意

ばかりしていたら信頼関係が失われる。柔軟な対応が必要と考えるが。

・前例のない事態のため、安全を第一に1人ひとりの心情に寄り添いながら発達段階に応じた丁寧な指導をする。

【質問⑤】学習の遅れを取り戻すために、忙しく窮屈な学校生活を強いれば、負担が増え、かえって「感染リスク」を高める。子ども・教職員の過度な負担とならないよう、これからの学校には、本当の「ゆとり」が必要と思うが。

・行事の精選、指導計画の見直しを行い、時間を効率的に使い、過度な負担とならないように授業計画を立てている。

【質問⑥】子どもの貧困が深刻になっている。就学援助を生活保護基準の1・3倍から1・5倍に戻すべき。

・現状を維持する。

副市長は「職員管理計画を前倒しして、職員を増員していく」と答えました。